

## 講演要旨

ペリー提督は日本遠征の目的を条約締結だけでなく、江戸幕府の鎖国政策によりほとんど知られていなかった日本の博物についての調査も重要な任務と考えていました。特に魚類と貝類の調査を自分の監督下に置き力を入れました。若い時から博物学や科学に興味を持ったペリーは、過去にも任務で訪れた国々で収集した生物標本を持ち帰り、学者や博物館へ提供していました。

戦争もありうると、日本遠征には魚類学者は同行させなかったのもので、捕獲直後の魚の絵を描かせて本国へ持ち帰りました。ペリーらはどこで、どんな魚を、どのような方法で捕獲していたのでしょうか？

これまであまり伝えられていない、軍人とは別の顔のペリーを紹介します。